

令和5年11月15日

於 教育委員会室

令和5年11月

大和市教育委員会定例会

大和市教育委員会

令和5年11月大和市教育委員会定例会

○令和5年11月15日（水曜日）

○出席委員（4名）

2番	委	員	森	園	廣	子
3番	委	員	前	田	良	行
4番	委	員	及	川	紀	子
5番	教	育	長	柿	本	隆夫

○事務局出席者

教育部長 前田 剛 司 教育総務課長 斉 藤 信 行

学校教育課長 北 島 知 成 指導室長 壺 井 克 俊

○書 記

教育総務課		教育総務課
政策調整	染 谷 広 幸	政策調整係
係		主 査
		伊 藤 禎

○日 程

- 1 開 会
- 2 会議時間の決定
- 3 会議録署名委員の決定
- 4 教育長の報告
- 5 議 事
 - 日程第 1 （議案第31号）令和5年度大和市教育費補正予算案について
 - 日程第 2 （報告第 4号）令和5年度大和市奨学生の選考について（諮問）
 - 日程第 3 （報告第 5号）令和5年度大和市奨学生の決定について
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

開会 午前１０時００分

○柿 本
教育長

ただいまから教育委員会１１月定例会を開会いたします。

会議時間は正午までとします。

今回の署名委員は、２番、森園委員、３番、前田委員にお願いいたします。

続いて、教育長からの報告をさせていただきます。

お手元のメモをご覧ください。

初めに、前月定例会以降の動きについてご報告します。

新型コロナウイルス感染症も５類に変わり、多くの行事が以前のように実施されました。

１０月２２日には、南林間駅西口広場を中心に、南林間文化祭が開催されました。天候にも恵まれ、多くの人でにぎわいました。森園委員は、文化祭実行委員長としてご活躍なされました。お疲れさまでした。

同じく２２日には、大和市青少年発明くふう展がシリウスサブホールで開催されました。会場には、工夫を凝らした発明作品が展示されましたが、どの作品もほほ笑ましい温かさを感じさせてくれるものでした。

１０月２６日には、大和市交通安全対策協議会が開催され、年末の交通安全運動などが議題となりました。

２８日には、大和市環境ポスターコンクール表彰式がイオンモールで執り行われました。表彰された作品は、どの作品も工夫が凝らされ、ポスターとして質の高い作品に仕上がっておりました。

１１月１日には、大和市小中学校教育研究会による教育講演会に参加させていただきました。講師は、コミュニケーション講師の肩書を持つ吉井奈々さんで、多様性の社会の中で自分自身を大切にしていくことについてお話いただきました。楽しい講演会でした。

１１月３日には、大和市ＰＴＡ連絡協議会バレーボール大会が大和スポーツセンターで開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響から４年ぶりの開催となり、熱の籠もった試合が繰り広げられました。

同じく３日には、大和市文化祭一般公募展表彰式及び大和市文化芸術顕彰式がシリウスサブホールで執り行われました。一般公募展は、絵画、書、写真のそれぞれの部で、優秀な作品に対する表彰が行われました。また、文化芸術顕彰式では、文化芸術賞、文化芸術振興賞、文化芸術未来賞の３賞が受賞者に送られました。

１１月４日には、南林間小学校５０周年記念式典が挙行され、参列いたしました。児童たちがつくった５０周年を記念するスライドも上映さ

れ、その後は卒業生の写真家による講演会も開催されました。

11月5日には、やまと子ども絵画大賞表彰式が笹倉鉄平版画ミュージアムで行われました。受賞者の子ども一人一人が自分の作品を語る場面もあり、ほのぼのとした表彰式でした。笹倉鉄平版画ミュージアムも今年で閉館とのことで、やまと絵画大賞も来年の開催が未定となっております。

同じく5日には、上福田地区と文ヶ岡小学校のふれあい広場も回らせていただきました。天気に恵まれていたこともあり、たくさんの親子が楽しそうに参加する姿がありました。

6日には、渋谷学習センターで黒岩知事との対話の広場地域版が行われ、参加させていただきました。外国からの市民をどう受け入れるか、インクルーシブなまちづくりがテーマであり、多くの意見が出されていました。

8日には、第2回大和市子ども見守り活動協議会が開催され、ヤマトンポイントの付与についてが議題になるとともに、各学校からの取組報告がございました。

10日には、総合文化祭音楽会がシリウスメインホールで開催されました。各中学校の代表クラスによる合唱は本当に見事で、クラスが一つになってつくり上げてきたことがしっかりと伝わってくる歌声でした。

お手元のメモにはございませんが、インフルエンザによる学級閉鎖がまだ続いています。10月には、学級閉鎖が小中学校合計で42学級、学年閉鎖が3学年でした。11月は、13日月曜日までで学級閉鎖が3学級となっております。まだまだ注意が必要な状況が続いております。

次に、12月市議会の日程をお伝えします。

本会議は、初日が11月27日、一般質問が12月14日、15日、18日の3日間、最終日が12月21日の予定です。委員会は、文教市民経済常任委員会が11月30日、厚生常任委員会が12月1日となっております。

報告の最後に、次月定例会までの予定につきましては、メモでご確認をお願いいたします。

11月18日には、子ども読書フェスティバル、20日には、総合教育会議、11月25日には、大和市青少年健全育成大会が予定されておりますので、教育委員の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

以上で私からの報告を終わらせていただきます。

ただいまの報告に関しまして質疑等がございましたら、委員の皆様からお願いいたします。いかがでしょうか。

森園委員、お願いいたします。

○森 園 南林間文化祭ですが、柿本教育長をはじめ、大勢の来賓の方にご来場
委 員 いただきました。大変ありがとうございました。子どもたちのための文
化祭となっており、親子連れでとてもにぎわっておいりました。よかった
と思います。ありがとうございました。

○柿 本 ほかの委員の皆さん、よろしいでしょうか。

教育長 どうぞ、及川委員、お願いいたします。

○及 川 ふれあい広場が開催されまして、私は深見小、深見地区のほうに行き
委 員 ました。あいにく朝、ちょっと雨が降っていて体育館になってしまった
のですが、子どもたちが本当に楽しそうにしている、久しぶりに笑顔を見
たなという感じで、私も楽しみました。

○柿 本 よろしいでしょうか。

教育長 (発言する者なし)

ほかにはないようでしたら、ただいまの報告に対する質疑を終了いたし
ます。

◎議 事

○柿 本 それでは、議事に入ります。

教育長 日程第1、議案第31号「令和5年度大和市教育費補正予算案につい
て」を議題といたします。

細部説明を求めます。

斉藤教育総務課長。

○斉 藤 令和5年度の大和市教育費補正予算案につきましては、地方教育行政
教育総 組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づきまして、市議会1
課 長 2月定例会で市長が提案する補正予算案として、教育委員会として意見
の申出をするものでございます。

1ページをおめくりください。A4の横長の表でございます。こちら
が令和5年度教育費11月補正予算案になっております。

中学校移動水泳事業のためのバス送迎委託料につきまして、国土交通
省による貸切りバスの運賃、料金の引上げについて、この8月に改定が
公示されたことに伴い、契約している事業者等々から見積りを取り直し
たところ引上げが必要となりましたので、契約における債務負担行為の
限度額の増額補正をするものです。

まず、こちらの背景でございます。国土交通省による貸切りバスの運
賃、料金の公示でございますが、平成26年度から公示しております基

準額のマイナス１０％からプラス３０％の範囲で料金を定めるように、国が事業者に通知をしていたものでございます。

ただ、その後、スキーバスの軽井沢など、大きな事故も背景として上がりまして、国が検討を重ねた結果、今回の改定の公示から、バスの運営事業者が適切に安全への投資を行えるように、貸切りバスの運賃や料金につきまして、基準額のプラス、マイナスを設けず、公示された基準額を最低料金として、言わば上限の枠を設けないようにしました。また、基準額そのものにつきましても、昨今の燃料費の高騰、さらにコロナ禍から回復する観光客の移動の足を確保するために、人手不足が言われているドライバーの確保と待遇改善という観点から、引上げをしているところでございます。

教育委員会といたしましても、国による基準額の改定の趣旨、背景にのっとりまして、生徒の命を預かるということでございますので、必要な予算措置をさせていただきたいものでございます。

なお、債務負担行為でございますが、予算の単年度会計主義の例外としまして、翌年度以降にお金の支出がある契約におきまして、限度額の範囲内で前年度に契約をすることを認める予算でございます。この移動水泳の債務負担行為につきましては、貸切りバス事業者の繁忙の状況から、早期に契約する事業者を決定する必要があること、設定しているものでございます。

こちらにつきましては、債務負担行為として設定した限度額を、国交省の公示料金の値上げによりまして各事業者が提出してきた見積りのうち、最安値の見積額に基づきまして、必要な増額をさせていただきたいものでございます。

具体的には、補正前額１３５万７，０００円であった限度額を１５０万８，０００円に増額するものでございます。

○柿 本
教育長

細部説明が終わりました。
質疑、ご意見等ございましたら、お願いいたします。いかがでしょうか。

（「ございません」の声あり）

特にございませんか。ないようでしたら、質疑を終結いたします。

これより議案第３１号について採決いたします。

本件の原案についてご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしということで、議案第３１号は可決いたしました。

続いて、日程第２、報告第４号「令和５年度大和市奨学生の選考につ

いて（諮問）」と日程第3、報告第5号「令和5年度大和市奨学生の決定について」は関連がございますので、一括して審議し採決いたします。

それでは、細部説明を求めます。

北島学校教育課長。

○北 島 学校教育課長 「令和5年度大和市奨学生の選考について」、大和市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則第2条第2項の規定により、別紙のとおり教育長が事務を臨時に代理しましたので、同条第3項の規定により承認を求めるものです。

今回、奨学生の決定の取消しについて、大和市奨学金選考審査会に諮問をいたしました。名簿にあります1番の方が対象となる生徒となっております。

続きまして、「令和5年度大和市奨学生の決定について」、先ほどの報告第4号の奨学生の選考と同様、別紙のとおり教育長が事務を臨時に代理しましたので、承認を求めるものです。

大和市奨学金選考審査会において、奨学生決定の取消しが適当と認められました。名簿1番の生徒が対象となる生徒となっております。

なお、臨時代理による決定の後、該当者の保護者に対しまして丁寧に謝罪をした上で、奨学金の返還についてご説明いたしました。保護者の方にはご理解をいただき、既に奨学金については返金をされており、入金されていることも確認いたしました。

○柿 本 教育長 質疑、ご意見等ございましたら、お願いいたします。
及川委員、お願いします。

○及 川 委 員 一度決まったものが取り消されてしまうのは、子どもとしても親としても、気持ち的につらいと思うこともあるので、なるべくその前段階で確認できるシステムがちゃんと構築されていればいいかなと思います。

○柿 本 教育長 今後、きちっと注意をしていきたいと思います。
森園委員、お願いします。

○森 園 委 員 丁寧に説明をして、相手の方もご理解いただいて、返金もなされたということで、本当によかったと思います。

取消しの原因をお聞きしたいです。所得が多かったんですかね。

○北 島 学校教育課長 事前の所得審査の中で、奨学金の選考基準の経済的な要件を満たしていないということが、後ほど……。

○森 園 委 員 要するに所得が多かったということですね。それは最初に分からなかったのでしょうか。

○北 島 最初のときに、そこを漏らしてしまいまして、決定をしてしまったと
学校教育 いうところが原因でございます。申し訳ありませんでした。

課 長

○森 園 分かりました。

委 員

○柿 本 では、この件につきまして、ほかにはないようでしたら、質疑を終結さ
教育長 せていただきます。

それでは、報告第4号及び5号について、承認することにご異議ござ
いませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしということで、報告第4号及び5号は承認されました。

◎その他

○柿 本 それでは、その他に入ります。

教育長 まず、全国学力学習状況調査の結果について、壺井指導室長。

○壺 井 まず、調査内容につきましては、教科に関する調査としまして、基本
指導室長 的には毎年、小学校が国語と算数、中学校が国語と数学、3年に1回、
理科と英語がそれぞれ実施され、今年度につきましては、英語が実施さ
れました。また、英語の「話すこと」におきましては、児童生徒の活用
するICT端末を用いたオンラインによる回答方式で実施がされまし
た。

お手元の資料は、令和5年度における市内公立小中学校及び全国、神
奈川県の正答数と平均正答率、さらに教科及び質問紙から見られる傾向
などについてお示ししております。

本資料につきましては、各学校に配布するとともに、市のホームペー
ジにもアップしております。

また、各学校では、市の傾向とは別に自分たちの学校の分析を行い、
学校便りなどを通じて、保護者に配布、周知をしております。

それでは、お手元の資料の1ページ目、令和5年度の本市の結果概要
及び市、県、全国の各教科の平均になっております。

平均正答率につきましては、今年度も文部科学省及び神奈川県との比
較において、同程度という結果でございました。

続きまして、2ページ目をご覧ください。

ここからは、各教科における良好であった内容が上段、課題があった
内容は中段、改善のポイントを下段というふうにまとめて示しておりま

す。

まず、小学校の国語の結果につきましては、昨年課題となっておりまして学年別漢字配当表に示されている、漢字を文の中で正しく使うという項目が良好な結果となっております。

課題としましては、3つ目にございます文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめるという項目です。これは、運動や食事について書かれた資料を読み、分かったことをもとに自分ができるようなことをまとめて書くことを問うものでございました。

続きまして、3ページ目、小学校算数の結果になります。

良好であった内容の2点目、これは、テープを切ってできた四角形の名前を問うもので、正方形の意味や性質の理解については良好な結果でございました。

その一方、同様にテープを折ったり、切ったりして作る三角形について、折る角度を何度にするかなど思考を要する問題については課題が見られ、言葉や図を用いて、なぜそうなるか筋道を立てて説明したり、論理的に考える活動を充実していく必要がございます。

続きまして、4ページ目でございます。

中学校国語でございますが、課題として、文脈に即して漢字を正しく書くことがございます。必要に応じて辞書などを活用しながら、実際に書く活動を通して、生活の中で漢字を正しく用いる習慣を引き続き進めてまいります。

続きまして、5ページ目、中学校数学でございます。

良好であった内容は、数と整式の乗法の計算に関することなどがありまして、課題があった内容は、図形の性質を考察する場面において、筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することでした。

観察や操作、実験などの活動を通して、基本的な図形の性質を見いだすとともに、既習の図形の性質を基に、生徒同士が互いに説明し合う活動を充実する必要がございます。

続きまして、6ページ目、中学校の英語でございます。

良好であった内容は、情報を正確に聞き取ることができるなどございまして、下段の課題があった内容につきましては、日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることなどが課題として上がっております。

なお、今年度実施されました「話すこと」に関する調査結果については、7ページにございますが、全国の調査結果と同様、平均正答率は13%であり、良好である内容は該当がないという結果となりました。

こちらにつきましては、簡単な情報や考えを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質、能力の育成に、今後も継続して取り組んでいく必要がございます。

8 ページ、9 ページにつきましては、質問紙調査から見られる良好な点、課題があった点について、上段に学校関係、下段にその他ということで、小中学校別に記載をしております。

課題としましては、地域や社会をよくするために何かしてみたい、地域との関わり、興味、関心、行事参加に課題が見られました。今後、地域との結びつきのある学習活動を行うほか、中学校では、地域の課題について考えたり、あるべき姿を構想したりするような学習に取り組むことが必要だと考えております。

指導室では、この分析結果はもちろん、これ以外にも様々なアンケートを多角的に分析する中で、学校へ丁寧に情報提供しながら、今後の指導、助言に努めてまいりたいと考えております。

○柿 本 全国学力学習状況調査の結果につきまして、委員の皆様から、ご意見、ご質問ありましたら、お願いしたいと思います。

教育長 いかがでしょうか。

前田委員、お願いします。

○前 田 以前からそうだと思いますが、小学校でも中学校でも、知識、技能、
委 員 こういうところはよくできていて、自分の考えをまとめるとか、筋道を立てて考えるとか、説明したりするという、思考、判断、表現、こういうところが苦手なのではないかと思います。ただ、指導室で、学習改善のポイントとして、分析され、まとめられていますので、これを各学校に下ろして行って、児童生徒に伝えて、少しでも改善できるようになっていけば、さらによくなるのではないかと思いますので、ぜひよろしくお願いしたいと思います。

それから、放課後に行う寺子屋でよく丁寧に教えてもらってよかったとか、分かるまで教えてもらっているとか、そういった感想があるのですが、最後のほうの質問紙調査の分析のところを見ると、普段の授業の中でも同じように分かるまで教えてくれていると出ていますので、普段の授業でも先生方がよく丁寧に教えてくださっているなということが分かって、とても喜ばしいことだと思いました。

○柿 本 ほか、いかがでしょうか。

教育長 森園委員、お願いいたします。

○森 園 国語のここ数年の学力調査を見て記憶しておりますが、要するに、内
委 員 容を把握してそれを理解するところが苦手だということがいつも出てお

ります。これは国語の一番大切なポイントなのですが、どうしたら子どもたちは内容を理解して、咀嚼していけるのか、やはりそれは読書しかないのではないかと思ってみたりしています。国語の内容を理解して物を捉えるということは、国語のみならず全教科に共通することなので、一番力を入れなくてはいけない部分ですが、一番できていないというのはなぜか、それに対する対策はないのかと、いつも思っております。

英語は、やはり話すことが非常に苦手で、英語でじかに会話するコミュニケーションが少ないのではないかと、その辺りに関してもいつも言われています。そのコミュニケーションはどのような形で今後していくのか。クラスや学校など、授業の中でのカリキュラムでやっているのと、文法や一つの規則や法則を学ぶことが中心になるので、じかに対話をするという取組が英語では必要ではないのかと痛感しています。

でもやはり、非常にきめ細かくいつもこうやって課題や改善という部分を出していただいているので、今後、いつの日か生かしていただきたいと思っております。

また、質問紙調査の良好であった内容で、普段の生活の中で幸せな気持ちになること、人の役に立ちたいと思うこと等が出てきて本当に嬉しく思います。本当に幸せというのは一番すてきなことだということを分かってもらいたいと思っております。

その他、最後におっしゃった地域との連携の今後について、小さいうちから地域に接触し、いろいろなことを考えることで子どもたちが豊かに育つということを捉えていただいていたので、改めてうれしく思いました。

○柿 本
教育長

ありがとうございました。

いつかではなく、すぐに活用していきたいと思っております。

ほかいかがですか。よろしいですか。

(発言する者なし)

それでは、質疑、応答のほうは終了させていただきます。

予定されている報告は以上でございますが、ほかに事務局より何かございますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

委員の皆様から、何かございますか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

特にないようでしたら、12月の会議の日程をお知らせします。

12月定例会は、12月26日火曜日、午前10時からを予定しております。慌ただししい師走になりますが、よろしくお願いいたします。

◎閉 会

○柿 本 以上で本日の日程は全て終了いたしました。
教育長 これにて、教育委員会11月定例会を閉会いたします。
お疲れさまでした。

閉会 午前10時30分